

一般質問発言項目

◎発言順に掲載

- 森島秀治(自民党・保守クラブ・東区) がん対策「耕作放棄地対策」・「健康づくり」の推進「公園施設整備」
- 今田良治(自由民主党・安佐北区) 災害対策「安佐市民病院の建て替え」
- 馬庭恭子(市政改革ネットワーク・中区) 平和宣言「平和の丘構想」・「ひと・こと創生」(ビッグデータ・リ・サス)「観光」安佐市民病院の将来像「自転車」のまちづくりの成果「性暴力被害者支援」のあり方「こみ屋敷」
- 平木典道(公明党・東区) 地方創生「医療政策」・「廃棄物処理行政」(OB職員)の活用「ユニバーサルツーリズム」海外での原爆展
- 藤井敏子(日本共産党・安佐南区) 平和行政「8・20豪雨災害」国民健康保険制度「介護保険制度」UR住宅「廃止に伴う」入居者の「移転先確保」(東部地区)「連続立体交差事業」
- 山本昌宏(市民連合・西区) アストラムラインの延伸「JR西広島駅北口」まちづくり「観光行政」(子育て)支援「市民の健康づくり」被爆者の思いを継承するための「平和記念公園」のあり方
- 八軒幹夫(ひろしま立風会・南区) 国際平和文化都市「比治山の活性化」(今後の市政運営)「東部地区」連続立体交差事業
- 海徳裕志(広島市民クラブ・安佐南区) 広島豪雨災害被災地の早期復興
- 森本健治(民主クラブ・中区) 被爆100周年に向けた取組「姉妹・友好都市との交流」(マイナナー)「制度」障がい者福祉
- 児玉光禎(自民党・保守クラブ・佐伯区) 広島市が締結した「工業・業務契約」(広島市を流れる河の安全)
- 宮崎誠克(自由民主党・佐伯区) 主権者教育「地域包括ケア」システム「構築」(有害鳥獣対策)「中小企業」振興対策
- 伊藤昭善(市政改革ネットワーク・安佐区) 樹木の維持管理等「東部地区」連続立体交差事業「市長の政治姿勢」(安佐市民病院の移転)「建て替え」
- 碓氷芳雄(公明党・安佐南区) 被爆の実相を伝える事業の取組「災害からの復興と安全なまちづくり」の推進「公立図書館機能」の拡充「安佐動物公園」の再整備



森島秀治 自民党・保守クラブ(東区)

「健康器具」で元気に長生きを

質問 健康寿命を延ばすことに関心が高まっている中、本市は高齢者施策推進プランにおいて「健康寿命の増加」を大きな目標に掲げています。その取り組みの一つとして、公園に健康増進を目的にした「健康器具」の設置を進めてはどうですか。

答弁 高齢者を含め、市民の健康づくりや余暇活動などを気軽に行うことができるよう公園緑地に健康の維持・回復のための施設の設置を進めており、現在56カ所の公園緑地に健康器具を設置しています。今後も健康器具の設置に努め、利用促進を図りたいと考えています。

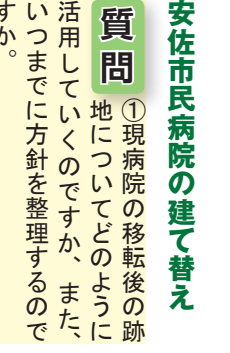


千田公園

農地の有効活用を

質問 世界の食糧需給問題が懸念される中、農地の確保と有効利用を図るためには、耕作放棄地の再生・利用を促進することが重要です。国策を待つばかりではなく、本市としても早期に強力な対策を講じるべきではありませんか。

答弁 耕作放棄地対策においては最も重要なことは、担い手育成であり、「ひろしま活力農業経営者育成事業」では地域の担い手を育成し、耕作放棄地の発生を未然に防止しています。一方、この事業が実施できない地域も多く、農地だけでなく森林など他の地域資源を活用するなど、複合的な経営により所得を確保するという新たな視点での担い手づくりに取り組んでいきたいと考えています。



安佐市民病院の建て替え

質問 ①現病院の移転後の跡地についてどのように活用していくのですか、また、いつまでに方針を整理するのですか。

②機能分化案にはどのような狙いがありますか、また、医療面でのどのような効果がありますか。

③白木・高陽・安佐地区のまちづくりは、今後どのように進めていくのですか。

答弁 ①現在の北館については、おおよそ1年間を目途に地元との対話を重ねながら具体的な検討を進めることにしています。その他の敷地の利用については、それと並行して、民間商業施設と公共施設の複合施設、看護系・医療技術系の学部を持つ学校などの整備について検討を進めることにしています。

②医療機能分化の狙いは、高度・急性期医療機能の強化、災害に強い病院の整備、病院跡地への日常的な医療機能の整備を実現すること、移転により病院が遠くなることに対する高陽・白木地区の住民の不安を解消することです。医療面の効果としては、現在地では「地域包括ケアシステム」の実現に資する機能を確保できるようになり、荒下地区では高度急性期医療に特化することができるようになります。

③まちづくり懇談会を今後も継続して開催し、住民との対話を重ねることによって、地区住民と市とが共有できるまちづくりのビジョンを作り上げ、着実に事業展開を図っていききたいと考えています。



今田良治 自由民主党(安佐北区)

質問 シュモアハウスは、原爆投下後、家を失った市民のためにシュモア氏が家づくりをした活動拠点の集会所です。広島の子どものための平和学習のために、学校教育の一環として教育委員会と連携し、広く活用したらどうですか。



シュモアハウス(中区江波)

質問 小・中学校の校長会で活用を呼びかけるなどしていますが、十分な活用には至っていません。十分活用には至っていません。十分活用には至っていません。十分活用には至っていません。

答弁 平和学習の場として活用を呼びかけるなどしていますが、十分な活用には至っていません。十分活用には至っていません。十分活用には至っていません。



安佐市民病院の将来像

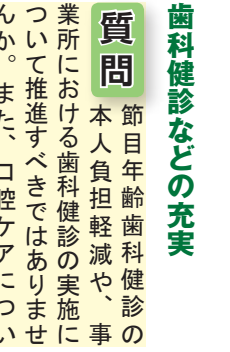
質問 機能分化の具体案を昨年決算特別委員会でご提案し、今回の市の方針はその内容に沿うものとなっていて、民間移譲するなど中期計画の変更を行わなければならないと考えますがどうですか。

答弁 この度の中期計画の変更案では、今後、整備ベッド数や診療内容、経営形態等の検討を行うとされています。広島市立病院機構では、地域住民の皆さんの意見をお聞きしながら、1年かけて検討し、経営形態を決定するに当たっては、中期計画の変更については、議会に諮ることになります。

質問 節目年齢歯科健診の本人負担軽減や、事業所における歯科健診の実施について推進すべきではありませんか。また、口腔ケアについて、高齢者の誤えん防止対策も含め、推進すべきではないでしょうか。

質問 市民生活から出る一般廃棄物の処理を民間委託しています。その際、業務の着実な遂行を求めますが、現在人員不足などが心配されています。市としてはどのような対応を考えていますか。

答弁 平成27年度委託契約の優先受託や、入札参加業者のすべてが原則最低一業務を受託できるように制度変更を着手しました。今後はこの制度変更を定着させる中で、複数年契約への移行等を行い、業界の健全な育成・発展に資するより良い制度になるよう努めます。



歯科健診などの充実

質問 自己負担額500円という軽減措置は開始して2年目であり、今後効果を見極めた上で自己負担のあり方を検討します。事業所歯科健診は実施している事業所が少なく、本市職員が事業所に出向くなどして働きかけており、今後も本市ホームページの情報の充実などにより働きかけます。口腔ケアは介護予防事業の重要な柱の一つであり、個別指導を実施する歯科医療機関を増やすなどして充実を図っていきます。

質問 国土交通省の公共用地の取得に伴う損失補償基準に基づいて算定しており、砂防堰堤整備についての補償基準変更は難しいと聞いています。引き続き国と連携し、関係者の皆様に移転先を積極的に紹介するなど、生活再建が円滑に進むよう全力で取り組んでいきます。

質問 黒い雨の降雨地域の拡大が進まないのは、国が内部被ばくを認めていないためです。市は率先して黒い雨の放射能による内部被ばくの研究を行い、降雨地域の拡大を求める科学的根拠を示すべきではないですか。

答弁 被爆者援護法において、国は原子爆弾の放射能に起因する身体的影響に係る調査研究の推進に努めなければならぬと規定されていることから、今後とも、国に対し、内部被ばくを含め原爆放射線の身体的影響についての調査研究を促進するよう八者協等を通じて要望するとともに、得られた結果については、積極的に公開していただくよう求めていきます。



土石流災害被災者の生活再建支援を

質問 砂防ダム整備のため、国の移転補償額が一般公共事業の基準のため、災害で更地にしていただけ、建物や設備が評価されず、補償費が少ない等移転困難なケースが出ています。市独自の支援をするべきだと思いますが、どうですか。

答弁 国において、所管事業の用地補償費については「国土交通省の公共用地の取得に伴う損失補償基準」に基づいて算定しており、砂防堰堤整備についての補償基準変更は難しいと聞いています。引き続き国と連携し、関係者の皆様に移転先を積極的に紹介するなど、生活再建が円滑に進むよう全力で取り組んでいきます。

質問 「このまま住み続けたら、区域内の己斐公民館の建て替えは、子育て世代の母親を支える環境や高齢者が安心して住めるという、地域の要望・ニーズにあった複合施設を検討し、まちづくりの完成時期を南北自由通路事業に合わせるべきと考えますが、どう取り組みますか。

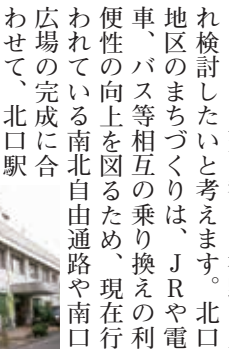
答弁 己斐公民館については、都市整備局とも連携し、地元のご意見なども踏まえて検討したいと考えています。北口地区のまちづくりは、JRや電車、バス等相互の乗り換えの利便性の向上を図るため、現在行われている南北自由通路や南口広場の完成に合わせて、北口駅前広場と県道伴広島線を結ぶ道路が整備できるよう取り組みたいと考えています。



JR西広島駅北口のまちづくり

質問 「このまま住み続けたら、区域内の己斐公民館の建て替えは、子育て世代の母親を支える環境や高齢者が安心して住めるという、地域の要望・ニーズにあった複合施設を検討し、まちづくりの完成時期を南北自由通路事業に合わせるべきと考えますが、どう取り組みますか。

答弁 己斐公民館については、都市整備局とも連携し、地元のご意見なども踏まえて検討したいと考えています。北口地区のまちづくりは、JRや電車、バス等相互の乗り換えの利便性の向上を図るため、現在行われている南北自由通路や南口広場の完成に合わせて、北口駅前広場と県道伴広島線を結ぶ道路が整備できるよう取り組みたいと考えています。



己斐公民館

◎発言順に掲載(※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。)